

## 兵庫FCサッカースクールの内容と考え方

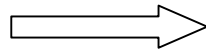
### サッカースクールで目指す、身体能力の向上（目に見える力）

サッカーのドリブルという技術の習得過程の中で

・神経系統への刺激

↓  
身体能力の向上

バランス感覚・巧緻性の向上



すべてのスポーツに通用する基礎的身体能力の向上

ランニングフォームの改善  
スピードアップ

↑  
・SAQトレーニング

### サッカースクールで目指す、人間的な成長（目に見えない力）

サッカーという競技の特性の最たるものは、『社会性を養う』ということです。

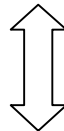
子どもたちは、トレーニングの中で

コーチからの指示で技術を教わります。

できるようになるまで、何度も繰り返し練習します。

うまくできない子どももいます。

どこが違うのか試行錯誤して学びます。



友達から学びます。

うまくできる子どももいます。

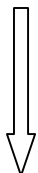
コーチからアドバイスを受け向上します。

子どもたちは、できるようになるまで、上記のプロセスを繰り返し、技術を習得します。

家に帰ってから一人で練習する子どももいるでしょう。簡単に技術を習得できなくても、努力を続ければ、できるようになることを知ります。

子どもたちは試合の中で、

試合に勝つために力を合わせます。



試合に負ける現実がトラブルを引き越します。

トラブルを解決し、チームとして人間として成長していきます。

試合で勝った時の喜びは大きく、「代表、今日3点取ったよ。」と帰るときには、報告に来ます。おそらく家に帰っても、ご両親に話していることでしょう。逆に試合に負けたときは、原因を見つけて非難します。ミスした友達を平気で非難します。非難された子どもは、家に帰って、不満をご両親にぶちまけるのでは・・・。

いろんなトラブルに目を背けるのではなく、そのトラブルに立ち向かい解決していける力を育てるのもサッカーという競技の特性です。日常生活では、勝ち負けを競う場面はそんなにありません。小学生年代で、競い合う必要がないという考えもありますが、ゲームという形式をとるスポーツは競い合うことに意義があると考えます。

長い人生の中で、何のトラブルもなく生きていけることはありません。多くの人間が力を合わせて生きていき時、必ずトラブルが起こります。多くの友達とコミュニケーションを取り、身の回りに起こる様々な出来事に対応して、トラブルを解決する力をサッカーという競技が育ててくれます。

『 サッカーは子どもを大人にし、大人を紳士にする。 』

といわれるのは、子どもたちの心が育つ様を表しているのだと思います。